



分かる人には分かる?! あの漫画を連想した人はしもむーと仲良くなれるかも...?

ゆざまち 十協力隊通信

若い力は無限大！の9月号

ゆざまち協力隊のつぶやき



秦秀平

@DX次世代人材育成支援・スマホ道場2代目師範

アツい夏、私の趣味時間はほとんどエレクトーンの練習に充てられました。やはり、好きなことをしている時間は楽しいですね。いつもゆざの音楽シーンに携わる機会をいただけてとても光栄です。



渡辺力

@観光振興・鳥海山・ジオパーク推進

今年は7回ほど鳥海山へ。仕事、プライベートと様々ですが登るたびに素晴らしい山だと感じています。平地で見る夜明けの鳥海山と朝靄がかっこよすぎて痺れる夏。本当に豊かな場所だよ...遊佐町！



白井駿平

@情報発信・水循環保全啓発

8月に2日続けてテレビに出演！身近な方々だけでなく初対面の方にもテレビで見たと言っていたりして、反響を感じました。協力隊とみなさんとの懸け橋として引き続き活動していきます。



吉田実

@DX推進支援・スマホ道場3代目師範

今夏は鳥海山の麓や秋田駒ヶ岳、月山など様々な山を楽しみました。しかし今年の目標は矢島口から康新道を歩いての鳥海山登山。肝心のこの目標は達成できておらずまだチャンスはあるかな～



早坂豊美

@情報発信・水循環保全啓発

献水という言葉をご存知ですか？水は命を繋ぐ源であり命の記憶。献水は、その尊さを心に刻む祈りです。それは、失われた命に捧げる平和への静かな約束。私は遊佐町の湧水を守って行きたいです。



下村俊太郎

@遊佐高 教育コーディネーター

最近チャリの練習をしているのは9月に210km走るレースに出場するため。210kmですよ。人間がチャリで移動する距離ではないです。遊佐町もコースに入っているので応援よろしくお願ひします。



久田直

@遊佐高 暮らしのコーディネーター

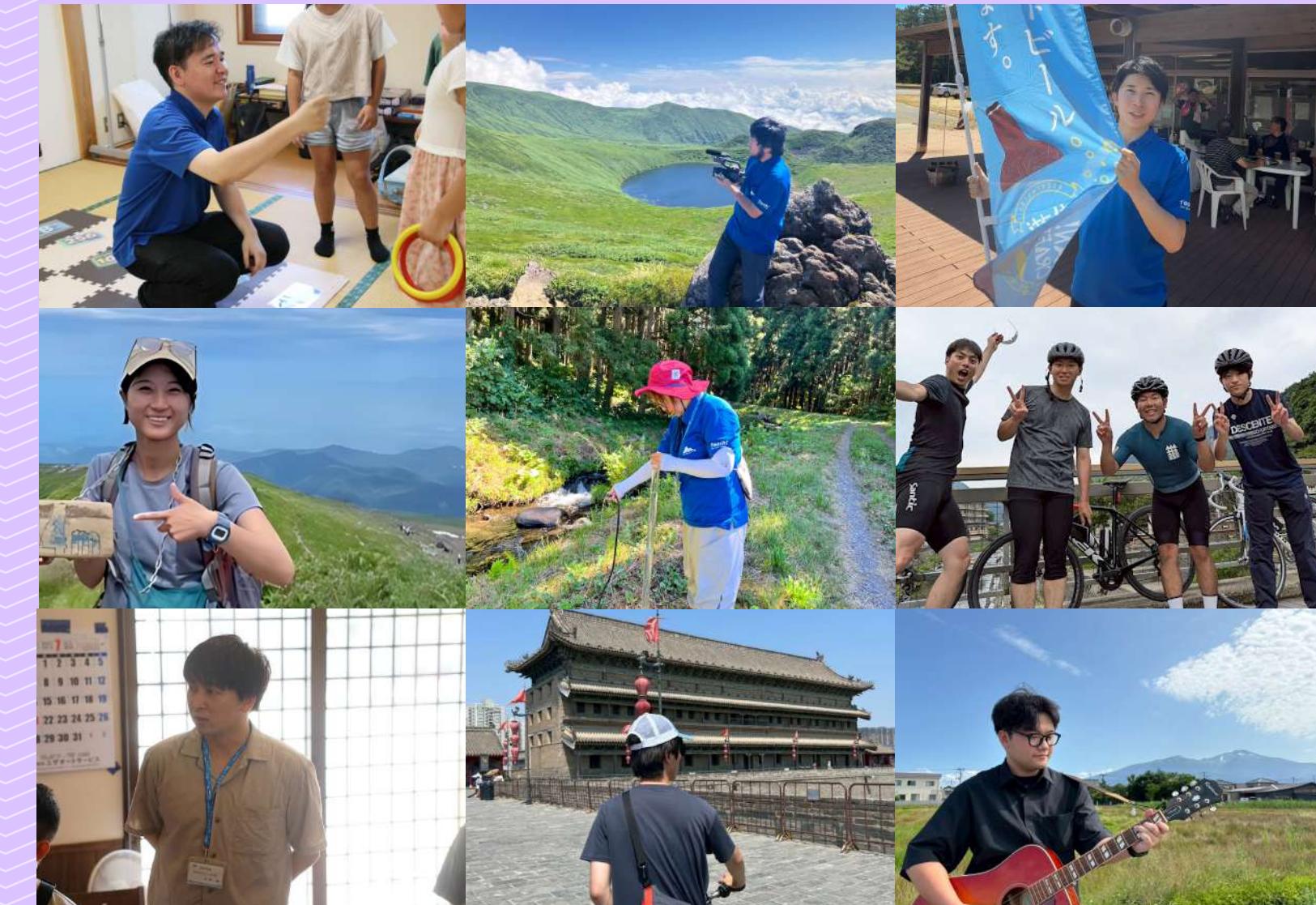
9月も中盤。遊佐町に来て5ヶ月経つと思うと、時の流れが早く感じます。充実した毎日を過ごしているのは皆さんのサポートのおかげ。感謝です。草刈り暑すぎますね。体調第一でいきましょう！



水谷響

@遊佐高 暮らしのコーディネーター

中国に旅行に行きました。行く前のネガティブな印象が、現地の方と交流してとてもポジティブに。そこに生きる方々に目を向けることが戦争を防止する一歩かもしれない、と思う戦後80年です。



読者の声



毎号楽しく読んでいます。
漫画がおもしろいです。



とても嬉しいお声ありがとうございます！
漫画執筆者も非常に喜んでおります。
内容の拡充も視野に引き続き製作してまいります。



来ちゃいなよ。
ゆざまち
遊佐の魅力を発信するWEBメディア



「来ちゃいなよ。ゆざまち」facebook
@yuzamachicom



「ほほ／日めくり！ゆざ！」Instagram
@himekuri_yuza

発見! 協力隊のお仕事 Vol.4

今回は、今年から新しく加入した隊員2人の活動を紹介!
早速取り組んでいるプロジェクトがあるということで、
そこにかける思いを探りました。

水谷 韶

みずたに ひびき (愛称: ひびー)

遊佐高校学生生活支援業務担当
好きな遊佐町のお店: 喫茶灯

ー 普段はどんな活動をしていますか?

遊佐高校に県外から留学してきた高校生が生活する寮の運営や、イベントの企画を行っています。高校生と地域の皆さんに助けられる毎日です。学校とは違う顔を持つ高校生たちに刺激をもらったり、一緒に考えたりすることができるところがとても面白い業務だと感じます。

小中高大、そして大人へと続く
遊佐の教育の流れをつくりたい



PICK UP!

English Summer Camp

ー 今回のイベントの内容と開催の背景を教えてください。

遊佐小学校低学年児童を対象に英語に触れるワークショップを開催しました。教育長からアイデアをいただき、地元の中高生、県外留学生や大学生、コーディネーター、大学の友人などの大人にもたくさん手助けをしてもらなが、夏休みに合計3日間開催しました。



ー 今回のイベントで心がけたことや大変だったことは何ですか?

「楽しみながら学ぶ」をテーマに、ゲームを通じて児童が英語に少しずつ慣れていくようにワークショップを設計しました。その時心掛けたのは、できるだけ自然に英語に触れたり、自分から発言したりすることができるような場所にすること。また、参加している児童はもちろん、アシスタントも一緒になって楽しめるゲームはどうやら作ることができるのかを、夜な夜な考えながら企画を練っていました。

一緒に楽しい雰囲気を作るための進行がとても難しかったですが、子どもたちと楽しみながら開催することができました。

ー 今回イベントを担当した感想や今後の展望を教えてください。

回や時間を追うごとに児童の様子がどんどん変わって、自分から話してくれるようになるなどの変化が見られてとても楽しい会になりました。今後はさらに対象学年を広げて第二弾を開催できたらいいなと密かに思っています。もっとたくさんの子どもたちと中高生のつながりができたら嬉しいです。



松尾 尚記 まつお なおき (愛称: まっつん)

集落: 下吉出

「若者を中心としたビジネス創出事業」支援業務担当
好きな遊佐町のお店: ギャラリー & ティールーム翠

若者の力で遊佐町にビジネスの
新たな風をおこしたい

ー 普段はどんな活動をしていますか?

空き店舗の利活用事業の1つとして町内を回り空き店舗の調査を行ったり、若者を中心としたビジネスチャレンジプログラムを運営しています。遊佐高校の授業であるデュアル実践において事業所と学校とコミュニケーションを取り、課題を聞き解決案を提案したりしています。また、まちづくりセンターにて音楽のイベントを行うなど、地域の皆さんとのつながりを作っています。



PICK UP!

遊佐まちなかビジネスチャレンジプログラム

ー 今回のプログラムの内容と開催の背景を教えてください。

起業に挑戦したい若者の応援と空き店舗活用を軸に、高校生から35歳を対象に起業に向けた段階的な支援を実施しています。プログラムでは事業の継続を大事にしていて、収益性だけでなく、遊び心を忘れずに自分自身がワクワクできる「遊益性」を両立するようなアイデアの実現を目指しています。



ー 今回のプログラムで心がけたことや大変だったことは何ですか?

一番大事にしているのは、参加者が前向きで意欲的に参加できる環境づくりです。チャレンジの不安から意欲を失わないよう定期的に参加者同士で話す会を実施。一人で考えていると自分だけが不安を抱えているように感じてしまいやすいですし、そうなると歩みも止まってしまいます。会話を交えることで参加者同士の思いが共鳴したり、抱えていた悩みや課題が解決したりするので効果を感じますね。今後は、話す会の参加者が固定化されないよう開催日を増やしたり、より具体的に参加者の課題を解決できるようなモデルとなる事例の視察ツアーを行ったりしたいと思っています。



ー プログラムを担当しての感想や今後の展望を教えてください。

参加者の相談に乗ってアイデアと一緒に考え、なるほど!と次につながる発想を得てもらった時が、力になれてるなと実感しても嬉しいです。プログラムの最終目的は空き店舗を活用した起業なので、引き続き物件の調査と参加者の相談役を通して地域課題の解決につなげていきたいです。

＼プログラム参加者まだまだ募集中！／

松尾隊員が携わる「遊佐まちなかビジネスチャレンジプログラム」は、まだまだ応募者を募集中(Stage 1の応募は11月15日まで)です。随時説明会を開催していますので、まずはお気軽にお問い合わせを。詳しくは右記の2次元バーコードよりご確認ください。→→→



読者アンケートのお願い

今月も読者の皆様からのご意見・ご感想を募集しています。ぜひ皆様の声をお寄せください。→→→

